

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ジャッカル・アンブッシュ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.470	△RG 0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：JACKAL AMBUSH

フレアーの幅
[] インチ

PAPからピンとの距離
4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：MYTHIC JACKAL

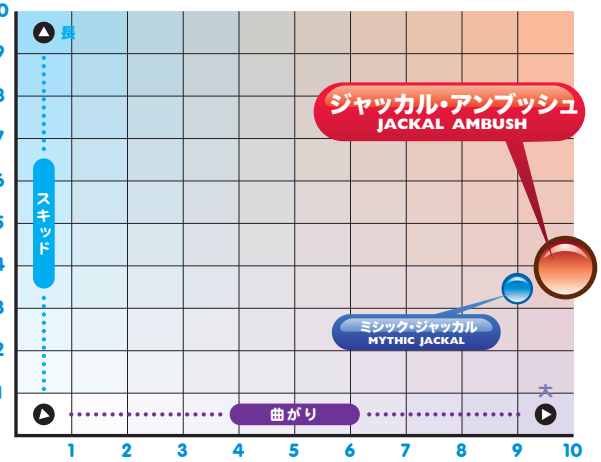
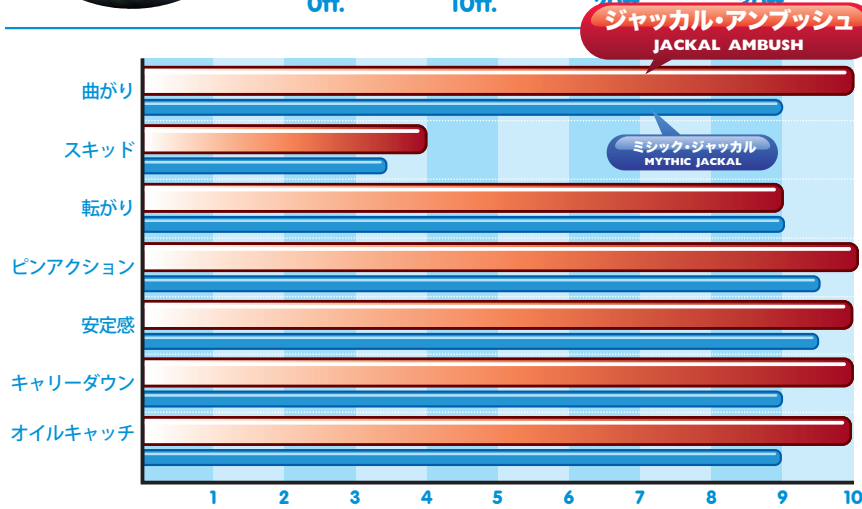
フレアーの幅
[] インチ

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

MOTIVのJACKALと聞けばヘビーオイル対応の圧倒的なキャッチ力を持ち、オイルを削るイメージはもちろんのこと、他のボールでは見えないラインもJACKALだと見えることもありました。カバーストックの進化によりヘビーオイル対応のボールの概念は表面を粗くすることによる減速だけではなく、手前のオイルの削りを最小限にしながらキャッチを見出し、スムーズに直進力をだすことでバックエンドの強さをも見出すケミカルチューニングの傾向にシフトしていると言っても良いでしょう。

今回発売するJACKAL AMBUSHは最新のカバーストックシステムでMOTIV史上最も強い”Leverage Solid Reactive”を搭載して、この分野では他を寄せ付けない強さを生み出しています。

印象に強く残るのが「スムーズさとコントロールしやすい」こと。一見地味に感じますが、オイルのあるコンディションで各社のボールと比較してみたところ、ヘビーオイルで一番安定してラインを描けたのがJACKAL AMBUSHで、他のボールで曲がりが見られなかったラインで最も曲がり幅が大きく、安定して曲がりが見られたのもJACKAL AMBUSHでした。スムーズさとコントロールが主なコンセプトに仕上がっているため、バックエンドの反応が強くなるコンディションで他のボールと比較すると曲がり物は物足りなく感じるのですが、オイルの量と長さが多くなればなるほど他のボールの反応が少なくなる中、JACKAL AMBUSHはその反応の差は最小限でとどまり、確実にキャッチして曲がっているのが確認できます。今までのヘビーオイル用のボールは手前からキャッチが優先して強烈に手前からの減速が始まるのに対し、JACKAL AMBUSHはスムーズにスキッドしているのに曲がりが見られていて、表面の粗さではないキャッチ力が今までにない強さを感じられます。

特記事項

MOTIV史上最強のキャッチ力をコンセプトに、特にヘビーオイルにおいて安定したキャッチと曲がりを得られます。